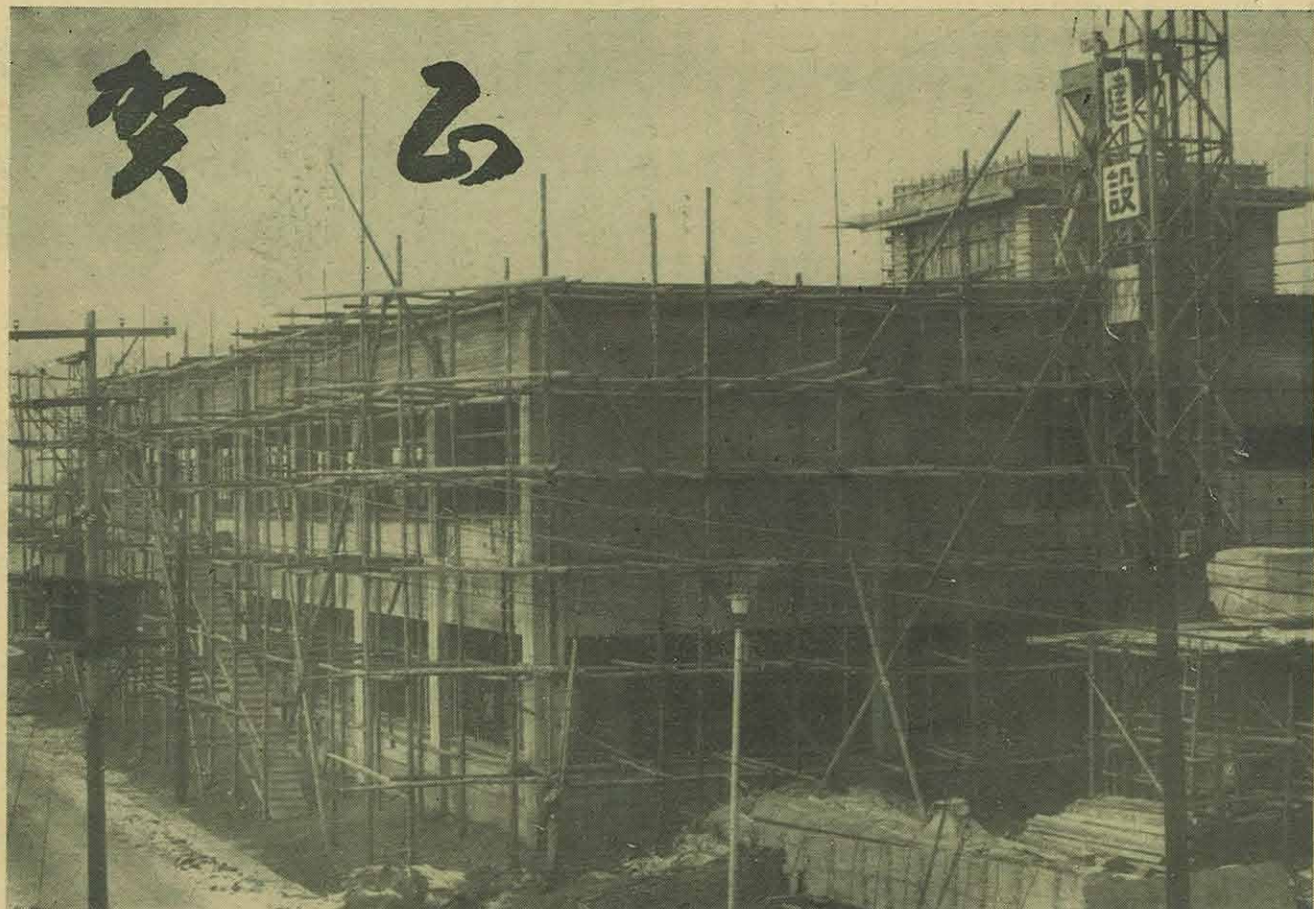


No.90

人の動き

40. 1. 1 発行
 発行人
佐呂間町長 船木長一郎
 編集人
 庶務課 庶務係
 印刷人
 佐呂間印刷

世帯数	2,876
人口	13,523
男	6,808
女	6,715
11月末日住民登録人口	



(軀体コンクリート工事を終えた役場新庁舎)

年新たに希望と幾多の抱負をもつて新春を迎え御同慶に堪えません。昨年は農業、漁業の凶作凶漁に遭遇致し被害者の方々を始め間接的には商工業者までその影響を受け誠に残念至極であり衷心より御同情を申し上げます。

幸い本州は豊作であり全国各地から心温い義捐金品の御惠贈と町内各位からは歳末たすけあいの品々を沢山頂戴致しました。受領者に代りまして心から御礼を申し上げます。

終戦後20年、想い起こせば身の毛もよだつ混乱の中から立上り

今や世界的に上位国として再建できたことも偏に温かい同胞愛の賜ものであり今日国内の一部に災害が発生するや全国からのお見舞を受け、世代、思想が変りましても心の奥底に愛情の平が深淵となつて流れつつあることを覚える次第であります。

農家の皆様も、やがて又来ることでありましよう冷害に対処する心構へを持つて真の寒冷地農業確立のため一層の御努力を切望して止みません。

佐呂間町も大正四年佐呂間村と命名されて50年また和人が定住して70年の星霜をかぞえ今日の町勢を確保する段階に至りましたが、時代の進展に即応した町づくりには町民総親和の態勢を基調とした永遠の努力が必要でありますことは今更申し上げます。町内産業の安定化、教育の振興、交通

網の整備、社会福祉対策など数多く問題を抱蔵し、将来に多くの発展の可能性を有する青年期とも申すべき時勢と判断しており新年を迎えるに当り新しい決意をもつて青年期を健全に、清潔な壮年期に盛々成長繁栄させるために倍の御協力をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。新年の御挨拶と致します。

新年を迎えて

佐呂間町長 船木長一郎

(毎号綴じて保存して下さい)

新年のあいさつ

議長 香川 嘉太郎



町民の皆様あけましておめでとう
ございます。

皆様と希望に輝く一九六五年の新春をお迎えいたしましたことを心から喜び申し上げますと共にわたくしも年頭に当り、なお一層の心がまえを新たに、郷土佐呂間町建設に最善の努力をつくしたい決意をしております。

さて過ぎ去つた一年間を振り返つてみますと期待した本町基幹産業であります農業、水産業が予想外の激甚災害を受け、その影響は全町民に及ぼして、誠に残念至極な年で全くご同情に堪えない次第であります。

国内情勢をみて各方面にわたつて数多くの問題があり、政治的にも社会的にも極めて多難な年でありましたけれども町民各位のご理解とご協力を戴き農林水産業の振興特に農業構造改善事業、道路橋梁の整備等予定通りの完成をみましたことは誠に喜びに堪えないところであります。これらのご協力に對しても心から感謝の意を表す

るものであります。

この様な状況にあつて今後の産業経済をみるときわたくしたちは最近の経済状態を真剣に究明しながら進まなければならない多くの事実と問題があり、本町政の方針も地方自治行政各般に亘る体質改善と近代化に對処して行く清新強力な施策を計画しなくてはならぬと痛感しております。

これが解決までには前途多難を予想され相当の時間を必要といたしますが、この困難性に対する解決が今後に於ける我々に与えられた大きな課題であらうと存じます。わたくしたちの携わる地方自治行政も幾多の困難と試練の道を辿りながら町村自治の基礎確立と住民福祉の向上に微力ながらも努力いたして参りたいと思ひますが国内外共に年々近代文化の向上は著しく進歩発展しこれに伴い本町における各種重要案懸事項等も年次増加の一途を辿りつつあります。

その実態は必ずしも楽観は許さない現況にあります。何と申しましても町民一人一人の絶大なる御協力なくしては解決することは何一つとして不可能なことであります。私達議会議員は盛上つた皆様の力を結集し誠心誠意住民のための奉仕者となることを誓ひ、当面した諸問題の解決に邁進いたし、存じますので今後共ご指導賜りますようお願い申し

上げます。
尚最後に町民の皆様も充分健康に留意され新しく迎えたこの新春を最も希望に満ちた意義ある年でありますよう念願してやみません。

年頭のことば

北海道知事

町村 金五

年頭に於て所信の一端を申し上げ、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、新春のごあいさつといたします。

道民のみなさま、あけましておめでとうございませう。希望にあふれる新年をみなさまとともに迎へて参ります。昨年は、道央新産都市の建設計画が閣議で決定されるなど、本道の第二期総合開発がいよいよその歩度を早めてまいりましたことは、まことにご同慶にたえませぬ。しかし一方、本道では不幸にも数度の大火があり、また大きな被害をこうむつたのであります。被災された方がたのたくましいご努力と、各方面からの暖かい救援活動によつて復興もすすみ、また苦境から雄々しく立ちあがる意気込みを示しておられますことは、なによりも喜しく、かつ、心強いかぎりであります。私は昨年欧米八カ国をたずね、多くのことを学んだのであります。現在の日本は先進諸国に比べて、国民の一人一人が自らの足らざるを補う努力を積み重ねていくならば、必ずや将来世界の一流国に伍し、決してひけ

をとらない国に成長でき得るといふ強い確信を持つたのであります。私達は職業をそれぞれに立派な反省を重ねながら一歩一歩着実に努力を続けてまいりたいものと存する所でありませぬ。ことしは、本道の二期開発計画も三年めを迎え、いままでの成果をふり返り、将来のいつその発展をはからなければならぬ重要な年であります。道民のみなさまにおかれましても、一人一人が「自分が北海道の開発を推し進めるのだ」といふ強い自覚と意気込みをもつて、さらにそれぞれのお仕事に精進くださいよう切望してやみませぬ。私も、みなさまとともに、豊かで住みよい郷土北海道を実現するため、ひたすら努力を続けてまいる所存であります。

みなさまのご健勝とご多幸をお祈りして、年頭のごあいさつといたします。

「たすけあい」に善意

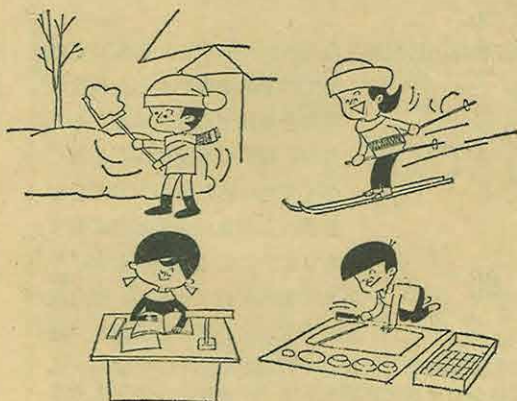
道外就職青少年などから

「みんなで明るいお正月を」と恵まれない方に少しでも明るいお正月を迎えていただくために毎年実施している「才末たすけあい運動」に、また冷害凶作に見舞われた農家の方に対する冷害義捐金など町内はもとより遠く各地から善意の金品が届けられました。

冷害を受けた農家のみなさんと、町内富武士中学校を卒業し名古屋市へ就職している兼平俊雄さんたち六人のグループ（昭和三十八年に母校富武士校にテレビを贈る）を始め、昨年夏栃木部落研究のため来町した日本大学理事原田先生をはじめ同大学校丘高等学校生徒全員からの義捐金、全道庁網走支庁支部、佐呂間地区労働組合

協議会などからたくさん義捐金が寄せられました。また「才末たすけあい運動」には佐呂間中学校生徒一同、佐呂間農協職員一同、営林署主婦の会、婦人団体、町議会議員、役場職員一同その他多くの人から金品が拠出されました。

これら善意の金品は各関係機関と協議の上、冷害凶作のため非常に困窮している農家の方や、病氣その他でお気の毒な家庭、各施設でお正月を迎える方々などへ届けられました。尚この結果については次号の広報で拠出金品の内訳、配分などを御報告申し上げます。



子どもの自主性・計画性を育てるよう
—冬休みの生活指導—

社会福祉センター

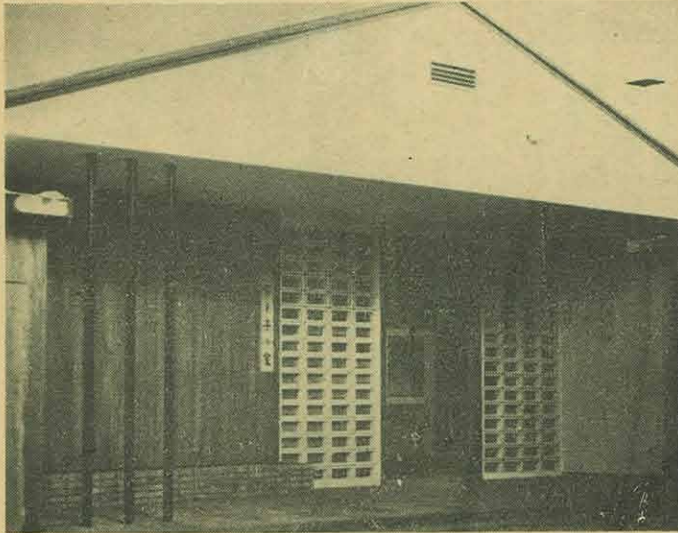
「母と子の家」完成

町の社会福祉センターとして佐呂間公民館東側に建設中であつた「母と子の家」がこの程完成しました。

母と子の家は木造モルタル塗平屋建九〇、五坪で総工費三九〇万円（うち道費補助一〇五万円）でポーチ七、四坪、ホール六、八坪、事務室兼各種相談室六、六坪、講話室二二、五坪、憩いの室二室十六坪、研修室八、六坪、料理学習

室三、七坪、管理室七、三坪、廊下その他十一、六坪からなつております。十二月十三日には大沢道議、網走支庁長外來賓多数出席の上同センターで盛大に落成記念式が行われました。

設備も本年はテレビ、ステレオ、机椅子、卓球台、調理用具などを備え、今後同センターでは、生活母子、健康などの各種相談室の開設、母子会、老人クラブ、身障



(完成した社会福祉センター母と子の家)

者の研修、集会等にも利用されるとともに、妊婦乳幼児の健康管理など、住民の保健衛生、社会福祉の向上に大いに活用し、力をそそぎたいと思ひます。

なおこの福祉センターの建設にあたり町の方々から多大な御寄附と御協力を戴きましたので紙上をもつて厚く御礼申し上げます。

岸 柳太郎 吉田 喜重

- 高橋 久市
 - 山内 春芳
 - 鈴木 静男
 - 菊池 周蔵
 - 井上 光男
 - 五十嵐 重正
 - 遠藤 忠義
 - 関東 勝
 - 杉谷 保
 - 村上 道蔵
 - 太知 勝次郎
 - 面 邦夫
 - 今井 行
 - 鈴木 一
 - 土田 邦夫
- (以上敬称略)

第1次救農土木事業実施 600余世帯が就労



(救農事業にはげむ人々)

農作物に大きな被害を受けた農家の皆さんに心から御同情申し上げます。昨年は蒔種期の低温、生育期の長雨、そして収穫には、早い霜害があるなど悪条件が重なつて戦後三回目の凶作となりました。町では冷害対策の一環として被害農家の現金収入を図る目的の救農土木事業を実施十一月二十日か

ら工事にかかりました。被害農家の方々は冷害にあえぎながらもたくましくこの事業に取りかかつて、作業は順調に進められてまいりました。

事業計画は第一次分八八五万一千円、第二次分三八〇万円合計一千二六五万一千円(うち道委託事業八九〇万円、町単独事業二八〇万

第1次救農土木事業実施計画 (39.12.1 現在)

地区	名	事業費	事業内容	賃金
西	富	629,000円	砂利採取 砂利敷 側溝 牧野開墾	616,580
北		899,000	"	875,400
東	中央	503,000	"	485,995
中	央來倉	1,225,000	側溝、砂利採取	1,188,422
	間岩	875,000	明渠排水、砂利採取	854,500
	佐呂	625,000	砂利敷、側溝	600,492
	幌	845,000	"	832,940
	浪	480,000	側溝	461,830
	武	820,000	"	791,618
	若共	995,000	"	955,062
	大啓	775,000	砂利採取 砂利敷 側溝 明渠排水	747,600
	生木	745,000	"	715,206
	立成	255,000	砂利採取、砂利敷、側溝	245,000
	生木	700,000	砂利敷、側溝	675,580
	西	1,165,000	砂利敷、側溝、明渠排水	1,125,610
	武	395,000	砂利採取、明渠排水	388,750
	朝	325,000	砂利採取、側溝	311,335
	富	395,000	側溝、砂利採取	379,206
計		12,651,000		12,251,126

円、その他九五万一千円)が決定されました。この事業費をもつて冷害対策本部、各関係機関と種々打合を行い、十一月十四日、二十八日の二回に亘り自治会長会議を開催し最終的に箇所付けと事業費の配分を行いました。

事業の内容は単に賃金収入の目的ばかりでなく、各地域の交通確保のための道路、集乳、ビート耕作農業の機械化に伴つて必要な農道の整備などを重点的に取り上げて今後の営農に寄与できるよう配慮し、砂利採取堆積、砂利敷、側溝、明渠排水工事など主な事業としております。

地区別事業費、事業内容は右の表のとおりです。

社会福祉協議会に

篤志寄附

町内字永代町佐藤敬介氏(役場勤務)は全快祝を廢して町社会福祉協議会に金一封を寄附された。

デンマーク便り

デンマークエチビヒギンド
ケルデアヘイコン・ハンセン方
福 田 幸 輝

此の度第三回デンマーク農業実習生として推せんを戴き、北海道デンマーク会、国際農友会を通じ私の志しとした北歐デンマークの土の上で実習生として精一杯の毎日を送つております。私のような者を素晴らしいこの地にお送り下さつたことを改めて厚く御礼申し上げます。予定どおり十一月二十五日羽田を發ち、翌二十六日デンマークの燃えるような太陽に迎えられる無事コペンハーゲンに着しました。初めてのジェット機は快適そのもので日本からデンマークへ僅か十八時間全く世界は一つという事が実感となりました。

コペンハーゲンでは関係手続や挨拶などのため二日間逗留しましたが暇々の市内見物は想像以上の素晴らしいもので何か自分を忘れてオトギの國に入ったような錯覚を起しそうな騒々しさのない古く落付いた風情と人情に満ちた街でした。二十八日には私の実習する地区デンマーク三島のうちのフィン島へ行きそこで私達の一切の責任者で農場を経営している中山さん宅へ落着き三日間現地で生活、簡単な語学、いろいろな農業施設を勉強したり、見学などをしました。中でも北歐随一の屠場、デンマーク最大の養豚場、最新の牛舎中央消費組合などその規模と施設には驚きました。

一日には夫々実習先の農家の主

人が迎えに来られ実習活動に入りました。私の配属された農家は古い中農で主人夫婦(七〇才近い人)とカール(常雇)の三人構成、畑二十五町、牛(赤牛、エヤンヤ)四十頭、豚七十頭を経営、畑二十五町にはビート十町のほか大麦、牧草、エン麦だけ、中農といえどもトラクター三台それに付随する各種農作業機械を個人で所有しています。今はビートの収穫盛り、十町といえは大変なようであり、完全な機械化で人手でするのはホーでビートの頭をけするだけです。作業時間は朝六時十五分頃から夜六時までそのうち昼休み一時間半これはきちんとしています。現在搾乳牛は十二頭朝夕二回私とカールでやりますが搾乳はミルカー二台を使つて殆んど私がやりますが四十分位で済みます。

目下一番困ることは日本人の体力と腕力のないこと、大きなデンマークの人たちにまじつて一輪車で既肥や飼料を山積してヨタ、ヒヨロヒヨロと歩く姿は冷汗ものです。とにかく皆んな親切な人だから語学の講義を受けています。この機会に充分勉強し、体験し、よいところを学び、帰町後少しでも北海道農業の確立にお役にたきたいと念願しつつ努力しております。最後に皆様の御健康をお祈りし筆をおきます。

投票区別有権者数 (39.9.15 基本名簿)

投票区	部 落 名	男	女	計
第 1	呂 閩 市 街、西 富、東	1,070	1,103	2,173
" 2	知 仁 倉 來	210	226	436
" 3	仁 倉 間	204	210	414
" 4	浜 佐 呂	326	335	661
" 5	幌 岩 速	108	101	209
" 6	浪 武 士 浜	42	33	75
" 7	富 武 里	96	89	185
" 8	富 武 里	91	109	200
" 9	富 武 里	125	113	238
" 10	富 武 里	140	144	284
" 11	富 武 里	120	137	257
" 12	朝 富 武 里	62	65	127
" 13	朝 富 武 里	72	79	151
" 14	朝 富 武 里	115	116	231
" 15	朝 富 武 里	405	445	850
" 16	朝 富 武 里	125	122	247
" 17	朝 富 武 里	64	55	119
" 18	朝 富 武 里	223	216	439
" 19	朝 富 武 里	122	130	252
計		3,720	3,828	7,548

昭和三十九年九月十五日現在で調整された基本選挙人名簿が十二月二十日に確定されました。この名簿は今後行われる選挙に使用されますが、選挙執行の都度この基本選挙人名簿のほかに補充名簿が作成されます。基本名簿に登録されていない新有権者や転入者又は基本名簿に登録もれになつた

人は補充選挙人名簿に登録しなければなりませんのであらかじめ選挙管理委員会にある基本選挙人名簿を閲覧して登録もれがないか確かめて下さい。又これらの人はいつでも補充選挙人名簿登録申請制度によつて登録申出が出来ますので選挙管理委員会へ申出て下さい

有権者七、五四八八
基本選挙人名簿確定

生産農家で配給米を希望する方へ

今年には冷害のため生産農家で、配給米を受けなければならぬ人が多数あると思います。生産農家で配給米の受配を必要とする方は受配希望の前月までに、役場住民係へ申請して下さい。

申請には、本人及び農事組合長、農業委員の印鑑が必要です。用紙は役場住民係、役場支所、出張所にあります。

希望する方へ

一、訓練科目及期間
洋服科 一年 男女
製くつ科 一年 男
ラヂオテレビ科 一年 男女
事務員科 一年 男女
建築製図科 一年 男女

二、応募資格
義務教育卒業程度の学力を有する身体障害者で年令に制限なし

三、入所手続
役場住民係へ申出て下さい

四、募集期間
三十九年十二月一日から四十年三月十日まで

その他詳細については役場住民係へ御相談下さい。

▽国立北海道身体障害者職業訓練所訓練生募集

一、講習所所在地
札幌市北二条西二丁目

二、修業年限 四十年四月より一ケ年

三、資格
1年令満十八才以上(四十年三月末日現在)の者

2旧制中学校、高等学校卒業し又はこれと同等程度の学力を有すると認められるもの

3出身学校長又は水産協同組合長の推せんのあるもの

四、入所手続
提出書類の用紙は役場水産係にありませう

五、募集が切四十年一月三十一日その他詳細は役場水産係にお問合せ下さい。

▽道立網走職業訓練生募集

一、資格
年令に制限なし、義務教育修了程度の学力を有する健康な男子

二、訓練の内容
建築科(大工) 溶接科(溶接工)

三、入所手続
いづれも一ケ年間

四、願書が切
四十年一月三十一日

五、選考方法
面接選考、職業適性検査

面接選考、職業適性検査

▽道立水産業協同組合講習所第十四期生募集

一、講習所所在地
札幌市北二条西二丁目

二、修業年限 四十年四月より一ケ年

三、資格
1年令満十八才以上(四十年三月末日現在)の者

2旧制中学校、高等学校卒業し又はこれと同等程度の学力を有すると認められるもの

3出身学校長又は水産協同組合長の推せんのあるもの

四、入所手続
提出書類の用紙は役場水産係にありませう

五、募集が切四十年一月三十一日その他詳細は役場水産係にお問合せ下さい。

広報「さるま」は、町政のいろいろなることを知つていただくため、毎月一回発行し、自治会長を通じて全世帯に配付しております。みなさんの建設的な御意見や質問は庶務課へお寄せください。